

「面接の意図」

<p>選抜区分</p>	<p>平成 31 年度 （選抜区分：全国推薦（地方創生推薦）） 地域創生学群 地域創生学類 （科目名：面接試験）</p>
<p>面接の意図 （評価のポイント）</p>	<p>1. 出題の背景・求める能力 以下に示すような、地域創生学群で学ぶうえで必要となる素養、アイデアや能力を有しているかを判断するため事前課題に基づき、面接試験を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域創生学群の理念や目的を理解しており、本学群で学ぶことを強く望んでいる ■ 地域課題に対して問題意識を持ち、主体的に関わっている ■ 多様な人々と共に学ぶうえで必要となるコミュニケーション能力を有している ■ 地域活動を行う際に必要となる情報収集・分析力、計画策定力、実行力を有している <p>2. 解説 事前課題として作成していただいたレポートの内容やアイデアにおいて、独創性や実現可能性が十分あるかが評価のポイントの一つでした。とくに、アイデアの実現に向けて多様な人々と協働しつつ主体的に取り組んでいるケースについては高く評価しました。同時に、作成されたレポートをもとにした面接官との質疑応答において、自らの言葉で論理的に説明し、相手の質問の意図を理解した上で適切な受け答えができている場合は、評価を高くしました。</p>
<p>選抜区分</p>	<p>平成 31 年度 （選抜区分：特別推薦（活動実績推薦）） 地域創生学群 地域創生学類 （科目名：面接試験）</p>
<p>面接の意図 （評価のポイント）</p>	<p>1. 出題の背景・求める能力 以下に示すような、地域創生学群で学ぶうえで必要となる素養、自らの能力を地域創生に生かす意識やビジョン等を判断するために、面接試験を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域創生学群の理念や目的を理解しており、本学群で学ぶことを強く望んでいる ■ 多様な人々と共に学ぶうえで必要となるコミュニケーション能力を有している ■ 自らが有する卓越した技能（能力）を地域創生にどのように活かしていくか、明確なビジョンを有している <p>2. 解説 卓越した実績を上げるために主体的に取り組んできたこと、学んだことの内容を真摯に振り返ることができているか、また、その経験や実績（能力）を地域創生に活かす意識の強さや貢献方法の明確性が評価ポイントの一つでした。同時に、面接官との質疑応答において、自らの経験や学びを適切に表現し、相手の質問の意図を理解した上で適切な受け答えができている場合は、評価を高くしました。</p>